

## ランニング愛好者の要求実現をイチバンに!

### 東京ランニングクラブ第12回総会

東京ランニングクラブ(以下東京RC)の第12回総会が、8月5日(土)に池袋の「区民ひろば朋友」で開催され、出席者19名、委任31名の計50名で執り行われました。

佐藤会長からの活動報告、方針案の提起を受け、後半の質疑・討論では参加者からそれぞれ発言をいただきました。東京RC主催大会の審判をされている方からは、運営に対する助言をいただきました。また競技に参加した方からは「観客が少なく寂しい」等の感想をいただきました。「うーん、RCとしても参加者を増やす活動にもっと力をいれなくては」と決意を新たにしました。

最後に大会議案、決算・予算を採択、次期運営委員9名の信任もいただき、14時に閉会しました。

総会後は近く中華料理店で懇親会を行い、ランニング談義で盛りあがりました。

総会後の運営委員会で新体制を確認しました。以下に掲載します。

- ・会長 佐藤正美
- ・副会長 宮永隆行、小林一美、藤野哲郎
- ・会計 桑名令子 ・顧問 鳥井健次、斉藤 弘
- ・会計監査 太田今朝男

<運営委員>(9名)

佐藤正美、宮永隆行、小林一美、藤野哲郎、金子正芳、森、良太、桑名令子、渡抜貴史、根岸清和

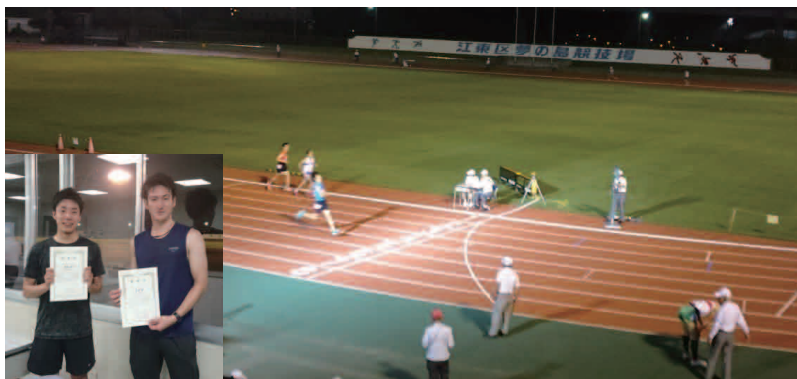
<運営協力員>(3名)

太田今朝男、鶴本啓三、三保清美

## 初の3000m実施

## 大会新 3!

★第19回ナイター陸上競技大会  
 in 江東区夢の島競技場



7月8日、東京・江東区の夢の島競技場にて「第19回東京RCナイター陸上競技大会」「東京RCナイター陸上記録会」が開催されました。期末試験や中学総体予選と日程が重なった影響で中学生の出場者が大幅に減りましたが、300名近い方に出場していただきました。

当日は気温32度を超え、トラックに立っているだけでも汗が出るほどの猛暑になりました。夢の島特有の海風で追い風参考記録になるなか、一般男子400m、一般男子走高跳、壮年男子1500mで大会記録がうまれました。長距

離種目が始まる夕方になるとようやく日差しが弱まり、ナイター陸上らしい雰囲気になりました。一般女子5000mは1着2着のタイム差が0.15秒となる熱戦でした。

最終種目は今大会からの新種目3000m競走。告知が不十分で女子は2名と少数でしたが、男子は22名が出場。一般種目の3000m競走を実施している陸連公認大会は少なく、今後のPR次第で大きく出場者を集める種目になるのではと期待しています。

## ランナーのパワーに感銘!

西コース 太田好美 (TORY組)

今回初めて反核平和マラソンに参加させていただきました。後走を担当し、赤い旗を持ち最後尾を走りましたが、核廃絶に対する皆さん(ランナー)ひとり一人の「強い意志」と「凄いパワー」を感じ、大変感銘しました。また、その思いが前から来る歩行者やバス停で並んでいる都民の皆さんに力強く伝わっていたと感じています。

ランナーからの「核兵器廃絶・平和マラソンを行っています」の声掛けにほとんどの方が反応してくれていました。中には「頑張ってください。暑いから大変ね。水分補給を忘れないでね!」と逆に声援を送ってくれる人も少なくありませんでした。この時、「私たちだけではなく核廃絶に対する同じ思いの人が大勢いるのだな」と少しホッとした気分になりました。

次回も是非参加したいと考えていますが、もっとアピールできたら素晴らしいです。ア



ピールの方法は色々あると思いますが、たとえばランナー全員で統一した蛍光色の目立つTシャツを着用し、周囲により大きなインパクトを与える。「核廃絶」の意味の小旗を全員が持って走ったらどうか等、走りながら考えていました。もちろん拠点ごとに飲み物等を用意していただいたスタッフの皆さんにも同じTシャツを着ていただければ、全員の思いが行き交う人たちにさらに伝わりやすくなると思います。

一緒に走っていただいたランナーの皆さん、次回もよろしくお願ひします。ありがとうございました。

# PEACEランニング

## 第22回東京反核 平和マラソン

## ピースランが受け入れられている!

北コース 藤野哲郎 (楽走会)

今年は北コースは参加者が12名とほかのコースより少なめだったので、ペースもキロ8分ペースで大きく遅れるランナーもいなくて予定通りに第1給水ポイントの上三ふれあい広場へ到着。その後も順調に反核平和をアピールしながら板橋区役所へ到着。板橋区長からメッセージをいただいた。

次の池袋スポーツセンターで昼食。おにぎり、フルーツ、漬物などでアピールのエネルギーを補給し、出発。空模様は雲が多く、直射日光のダメージは幾分少なめだったが、日が昇るにつれ気温が上昇してピースランナーたちの体力を奪っていった。西早稲田の給水ポイントを目指していると、西早稲田在住の大学時代の先輩が応援してくれて、丁度疲労感が現れだしたところだったのでとてもうれしく元気が出てきて疲れも吹き飛んでいった。

新宿区役所での給水時、出迎えてくれた区議



の方から今回は区長メッセージがいただけなかったが、来年はぜひピースランに対してメッセージをいただくようご尽力いただけるとのお話があり、地道な活動が少しづつではあるが確実に進んでいると感じた。

最後の給水ポイントを過ぎ、ここまでのペースが順調だったので、代々木公園の到着時刻に間に合うことが確実となり、余裕をもって出発して見事4コースの先頭で到着できた。

今年も猛暑の中、平和と核兵器廃絶、原発反対をアピールして感じたことは、年配の方に限らず、現役世代、若者からも「頑張れ」など応援の声が返ってきたことが反核平和を呼びかけるピースランが受け入れられていると感じた。